

メディア通信

令和 3 年 9 月 7 日発行第 2 号 文責：北塩原村立さくら小学校養護教諭



村内小中学校にて6月に実施しましたメディアアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート結果から、児童生徒が利用する端末にフィルタリング機能がついていない、またはついていないかわからない、という回答が約4割ありました。今回はその点について発信していきたいと思います。

—— ネットにつながる端末はフィルタリングがついているか確認を！ ——

近年、学校では「情報モラル」について様々な場面で指導するようになりましたが、子供たちのメディアリテラシー（情報を正しく取捨選択し活用する能力）はまだ未熟です。一方で情報化社会が進み、メディアの利用の敷居はどんどん低くなり、利用者も低年齢化してきています。そこで、メディアに潜む危険から子供を守る方法の1つが、フィルタリングです。

フィルタリングは、子どもが不適切なウェブサイトへアクセスしないように閲覧に制限をかけたり、有害なアプリを起動しないようブロックしたりする機能です。

スマホに関しては、2018年より、18歳未満がスマートフォンを契約する際は、フィルタリングの内容に関する説明や設定を携帯電話事業者や代理店が行うことが法的に義務付けられました。しかし、保護者のお下がりのスマホやネットにつながる端末（ゲーム機や音楽プレイヤー）についてはどうでしょうか。これは保護者の方に確認、設定してもらうしかありません。

＊ スマホは「あんしんフィルター for ○○（キャリア名）」で検索、もしくは販売店へ。

＊ 回線契約のないスマホやタブレット、ゲーム機や音楽プレイヤーのフィルタリングも端末本体で設定できるサービスやソフトが提供されています。



令和2年中に全国でSNSに起因する事犯の被害者となった子どもの約90%がフィルタリング未使用！

—— ペアレンタルコントロール機能の活用を！ ——

ペアレンタル（親としての）コントロール（管理）は、子どもが利用する情報機器の機能を保護者が制限し、管理する考えです。

- ウェブのフィルタリング（有害サイト等のアクセスをブロック）
- アプリのフィルタリング（アプリのダウンロード、起動、利用時間等のコントロール）
- スマホやゲーム機自体の利用制限（累計時間や利用の時間帯などで制限）
- 有料コンテンツや課金、購入の防止
- 位置情報（防犯目的）
- 利用状況レポート（利用したアプリやゲーム、時間などをレポートする機能） などがあります。



iOS なら「スクリーンタイム」、Android なら「ファミリーリンク」などがあります。利用するアプリやゲームにも設定画面からこういった項目を制限できるものもあります。それぞれ ID やパスワード等が必要ですが、子どもに知らせては意味がありません。保護者の方が管理しましょう。

「フィルタリング？ 制限？ やりすぎじゃない??」いえいえ。

「危険なく使っている様子だし、手間もかかるし、このままでいいんじゃない?」いえいえ。

小さな画面の奥にはネットを通して魅力的な世界が広がっていますが、大人が思う以上にネット社会は危険がいっぱいです。ネットの危険をうまく避けたり、ネットトラブルに対処できるリテラシー（知識）が未熟だったり、ゲームや SNS などに侵襲されやすい発達中の脳や心を持つ子どもを守るには、フィルタリングやペアレンタルコントロールは必要なことです。それは、不審者を警戒してランドセルに防犯ブザーを付けることと同じことです。設定等、手間はかかります。子どもを守るために必要な手間です。ぜひ子どものためにご利用ください。



また、子どもにネットにつながる端末を持たせる前に、しっかり親子でその必要性を話し合うことが大切です。親が分からない世界（アプリ、ソフト）を知るために子どもの話を真剣に聞き、学び、理解しましょう。不安や危険を感じるものについては、子どもにもその旨を話し、利用するためにはどうしたら安全になるか話し合しましょう。話し合っても分からないもの、不安や危険が拭えないものはまだ持たせる（やらせる）べきではありません。

今月は村内の幼稚園と小・中学校で「ノーメディアチャレンジ（ノーメディア強化週間）」が実施されます。

メディアとの付き合い方（特に下校後！）に関して、各自のめあてが達成できるよう、家族ぐるみで実践・実行をお願いします！

中学生は中間テストも控えているので、ノーメディアで集中できそうですね！？

